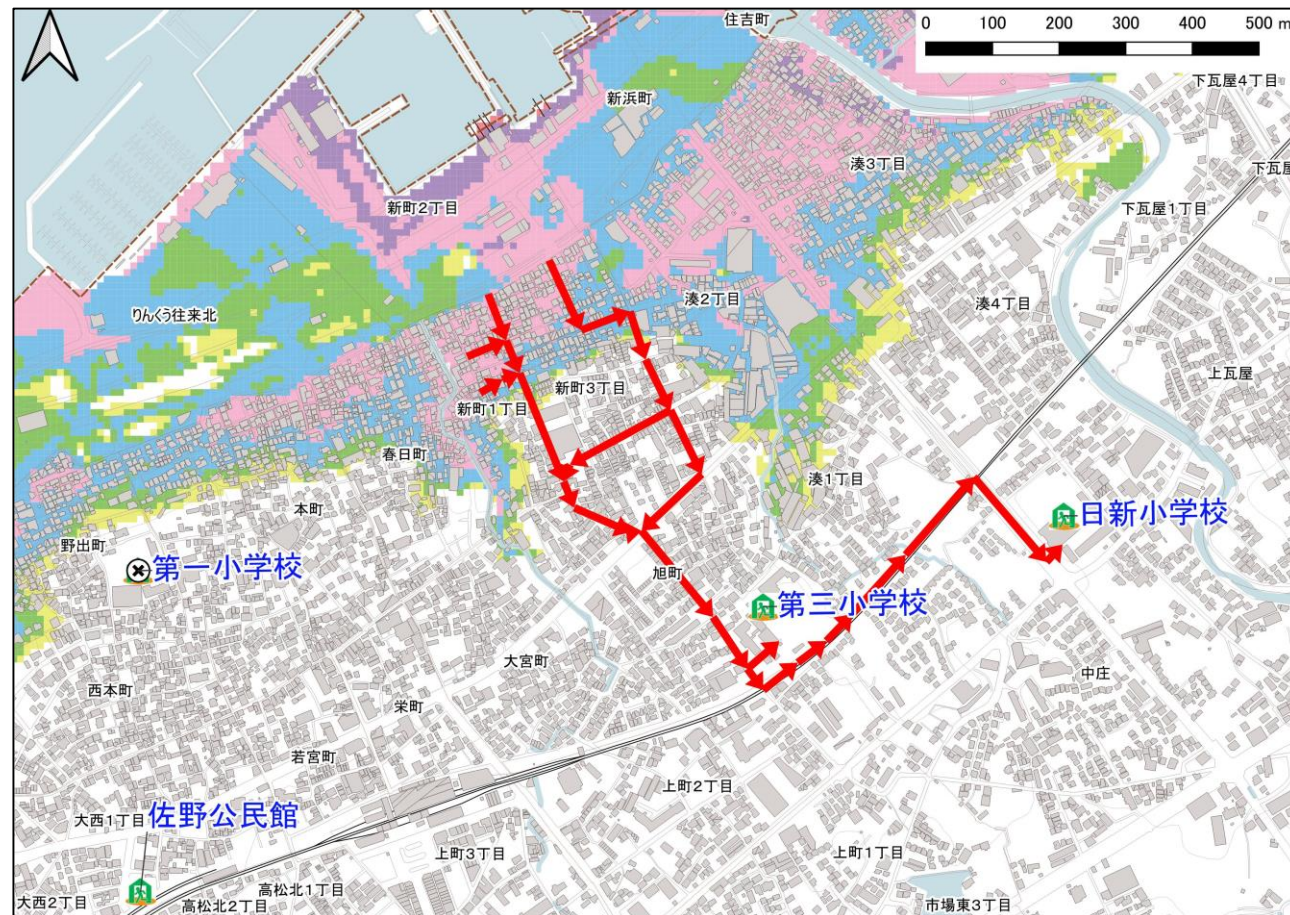


町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



洪水

洪水浸水想定区域(想定最大)

【浸水深】	【家屋倒壊等氾濫想定区域】
4.0m以上	河岸浸食
3.0m～4.0m未満	氾濫流
2.0m～3.0m未満	【避難場所・避難経路】
1.0m～2.0m未満	指定避難所
0.5m～1.0m未満	避難経路
0.5m未満	洪水時に利用できない避難所
【破堤・越水想定地点】	
破堤想定地点	
越水想定地点	

高潮

高潮浸水想定区域(想定最大)

【浸水深】
4.0m以上
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
【避難場所・避難経路】
指定避難所
避難経路
高潮時に利用できない避難所

新町 タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生のある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合っ、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注1）	市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
			避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報 早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）		警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃	（通報）新町スピーカーで繰り返し知らせる	防災組織でつかんでいる高齢者、障がい者の安否確認をする	車での避難はできないので、リヤカーを活用して救助活動する	漁業組合と事前に打ち合わせをして災害時にはリヤカーを貸していただく 長生会館を仮本部として連絡調整体制をとる
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について							
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する ・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	班長に連絡してそれぞれの受け持ちを点検	避難誘導班は避難所に来てない人を指示のもと、高齢者、障がい者の救助に向かう 高齢者を防災役員、班長が誘導する		
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		避難所開設後、各班長が声掛けし三小間で一緒に誘導する		
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅2階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報				

（注1）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子



連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	